

1. 科目名 (単位数)	外国語の指導法 (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	井草 玲子		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	日本の英語教育が再び大きく変わる。2020年全面実施となる学習指導要領に従い、小学校においては中学年で「外国語活動」が前倒しとなり、高学年では「外国語」が教科化されることとなる。そこで本講義では、外国語活動・外国語の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることを目標とする。児童期の第二言語習得理論を始めとする外国語教育に必要な理論を扱った後に、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語の指導への理解を深め、教育現場への実践へと繋げていく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができる。</li> <li>2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができる。</li> <li>3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができる。</li> <li>4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	宿題：事前学習と事後学習の欄を見て、丁寧に授業の予習と復習を行うこと。 レポート課題： ①授業振り返りシート15回分 ②ワークシート ③模擬授業評価シート ④グループによる指導案		
10. 教科書・参考書・ 教材	<b>【教科書】</b> 樋口忠彦 (代表) 『新編 小学校英語教育法入門』 研究社。 文部科学省 『小学校学習指導要領外国語活動・外国語編』 開隆堂。 文部科学省 『中学校学習指導要領外国語編』 開隆堂。 文部科学省 『高等学校学習指導要領外国語編』 開隆堂。 <b>【参考書】</b> 菅正隆編著 『平成 29 年改訂 小学校教育課程実践講座 外国語活動・外国語』 ぎょうせい。 <b>【参考資料】</b> 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<b>○成績評価の規準</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができたか。</li> <li>2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができたか。</li> <li>3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができたか。</li> <li>4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができたか。</li> </ol> <b>○評定の方法</b> 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、模擬授業を含む。) 30%		
12. 受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の修得は基本的に認められません。</li> <li>・ 受講にあたっては、事前学習と事後学習を丁寧に行い、授業中は、受講者全員を思いやり、授業に集中し、多くの知識・技能を習得してください。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。	メール：reigusa@ed.tokyo-fukushi.ac.jp	
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 小学校外国語活動・外国語の目標と特徴	事前学習	小学校学習指導要領外国語活動・外国語編 (文部科学省, 2017) を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴を把握する。
		事後学習	外国語活動・外国語の目標と特徴について再度学習指導要領の該当部分を熟読し復習する。
第 2 回	英語教育における小・中・高等学校の連携と小学校の役割	事前学習	教科書第 1 章を読み、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について把握する。
		事後学習	小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 3 回	指導者の役割 (児童や学校の多様性への対応)	事前学習	教科書第 3 章を読み、児童や学校の多様性への対応を含む指導者の役割について把握する。
		事後学習	指導者の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 4 回	主教材の趣旨、構成、特徴	事前学習	教科書 4 章を読み、主教材の趣旨、構成、特徴について把握する。
		事後学習	主教材の趣旨、構成、特徴について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。

第5回	児童期の第二言語習得1（受信と発信）	事前学習	教科書第2章と第6章を読み、第二言語習得において受信から発信へと進むプロセスについて把握する。
		事後学習	受信から発信へと進むプロセスについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第6回	児童期の第二言語習得2（音声と文字）	事前学習	教科書第2章と第6章を読み、第二言語習得において音声から文字へと進むプロセスについて把握する。
		事後学習	音声から文字へと進むプロセスについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第7回	指導技術1（英語での語りかけと発話の引き出し方）	事前学習	教科書第6章と第9章を読み、英語を介した児童とのコミュニケーションの仕方について把握する。
		事後学習	英語を介した児童とのコミュニケーションの仕方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第8回	指導技術2（文字言語への導き方）	事前学習	教科書第6章と第9章を読み、文字言語への導き方について把握する。
		事後学習	文字言語への導き方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第9回	授業づくり1（教材研究と指導計画の立て方）	事前学習	教科書第5章と第12章を読み、教材研究と指導計画について把握する。
		事後学習	教材研究と指導計画の立て方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第10回	授業づくり2（チーム・ティーチングとICT教材の活用方法）	事前学習	教科書第9章と第10章を読み、チーム・ティーチングとICT教材の活用方法について把握する。
		事後学習	チーム・ティーチングとICT教材の活用方法について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第11回	授業づくり3（学習状況の評価）	事前学習	教科書第11章を読み、学習状況の評価について把握する。
		事後学習	学習状況の評価について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第12回	模擬授業（1） 外国語活動（3年生・4年生）・評価・Discussion・総評	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入し今後の授業に活かす。
第13回	模擬授業（2） 外国語（5年生）・評価・Discussion・総評	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入し、今後の授業に活かす。
第14回	模擬授業（3） 外国語（6年生）・評価・Discussion・総評	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入し、今後の授業に活かす。
第15回	模擬授業の振り返り ・小学校の外国語の授業の課題と対策、及び今後の展望 Discussion 総まとめ	事前学習	これまでの模擬授業全体を振り返り、外国語の授業を行う際の問題点と対策をまとめ、発表できるよう準備する。
		事後学習	外国語活動・外国語を実施する上で必要なことを引き続き実践する。